

第10回災害対策本部での主な知事の発言

- 本日8時時点で、お亡くなりになった方は計92名となった。
- 引き続き、人命救助を最優先としつつ、同時に、一刻も早く道路・電気・水道・通信などのインフラを確保することをはじめ、物資の支援、避難所等での生活支援にも最大限の対応を行っていかなければならない。
- こうした中、外浦沿い等の孤立集落についても、全力で救助にあたっているが、思うように孤立が解消されていないのが現実である。

孤立状態が長期化する中、被災者の方々の生活面・健康面を踏まえると、そこに物資を供給し続けるのではなく、一旦、ヘリなどにより、街中に避難していただくことも選択肢として検討していかなければならない。

また、高齢者や障害者、乳幼児といった要配慮者などを被災地以外の旅館・ホテルなどに移送する受け皿としての二次避難所の準備に全力を挙げてください。

- 先ほど、支援物資の受入先である産業展示館4号館を視察してきた。約50人が孤立している千枚田ポケットパークにも、今まさに自衛隊のヘリが輸送中である。そのヘリの帰路には、避難者を何人か乗せてくることになっている。全国から続々と物資が運び込まれており、県側と政府側がしっかりと連携し、物資を必要としている被災地に迅速に届けて欲しい。

- 引き続き、被災市町のニーズを踏まえると同時に、プッシュ型で迅速な支援を行っていく必要がある。
- また、被災地では人手が足りないという声も多いことから、避難所におかれても、可能な方は、市や町の職員のサポート係として、作業を手伝って欲しい。
- 加えて、仮設住宅やみなし仮設住宅の設置について、早ければ早いほどいいので、市町と連携し、段取りの準備に入って欲しい。
- このほか、避難所での健康管理、し尿処理、大量の災害廃棄物の処理など、山積する課題を、国、県、市町、関係機関と情報共有、協力し、しっかり連携して対応してください。
- 能登へ向かう道路は渋滞で大変困っている。不要不急の能登への移動は、控えてほしい。救援部隊も大変困っているので、協力をお願いしたい。
- 県民の皆様に対しては、積極的に、分かりやすい情報提供を、是非お願いしたい。